大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業 事後評価結果

大 学 名	同志社大学
-------	-------

◇大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業プログラム委員会における評価

(総括評価) S	目的は十分に実現された。
(コメント)	
<p>拠点大学の国際化については、学長のリーダーシップが全学的に発揮され、事業推進のための財政基盤を整備しており、意思決定の迅速化のための組織も適切に整備している。専任教員の約半数が外国籍教員、外国の大学で学位を取得した日本人教員又は外国で教育研究歴のある日本人教員であり、大学の国際化が進展している。</p> <p>英語による授業のみで学位が取得できるコースについては、計画どおり開設されたコース、計画を前倒して開設されたコース、更には計画にはないコースも開設されており、高く評価でき、在籍する日本人学生の比率も適切である。また、英語コースを持たない研究科にも日本語のできない留学生が在籍して履修できる環境を整備している。</p> <p>留学生受入のための環境整備については、海外での受験機会の拡大が図られ、優秀な学生確保のための海外指定校推薦入学制度を導入している。入学後は、日本人学生との交流及び共生が図られており、奨学金や宿舍の拡充等の環境整備も適切に行われていることは評価できる。</p> <p>目標の達成状況については、高い目標が設定された状況で、概ね目標を達成しており、目標を大きく上回る項目も多いため、高く評価できる。</p> <p>今後の展開及び高等教育の国際化に対する貢献については、本事業での取組は貴学独自の特色ある取組が多く、他大学への波及効果も大いに期待できる。国内の大学間でのネットワークも形成されており、他大学の国際化の牽引役として更に独自の活動の継続が望まれる。</p>	